

教科名	理科
科目名	化学
グレード	
単位時間	2 単位時間
対象学年	中学 1 年

科目の概要と目標	身の回りの物質について実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解させるとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付けさせる。化学変化についての観察、実験を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解させるとともに、これらの事物・現象を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方を養う。
使用教科書	東京書籍 新編 新しい科学 1, 新編 新しい科学 2
使用副教材	教育開発出版 中学の理科第 1 分野
評価の方法	1. 年 4 回の定期考査, 2. 実験へ態度および実験レポートなどの提出物 3. 出席状況, 学習態度
学習の方法	中学 1 年では、毎週実験を行っています。実験結果を覚えるのではなく、なぜそのような実験結果になるのか、理由をしっかりと理解しよう。また、実験器具の使い方や実験手順も振り返っておこう。知識は体系的に整理して覚えていこう。ただ文字で覚えるだけでなく、図や表にして覚えることで記憶にも残りやすいです。計算問題は、基本的な問題を繰り返し解き計算力をつけていこう。
生徒への一言	毎授業後、問題集で授業内容を復習しよう。

月	授 業 予 定
4 月	1. 身の回りの物質とその性質 マッチ, ガスバーナーの使い方を習得する。物の調べ方
5 月	金属と非金属, 様々な金属の見分け方, 密度, メスシリンダーの使い方 5 月下旬 前期中間考査
6 月	白い粉末の見分け方, プラスチック 気体の性質 (酸素・水素)
7 月	気体の性質 (二酸化炭素・アンモニア), 周期表
8・9 月	水溶液, 溶解 9 月下旬 前期期末考査
10 月	溶解度, 再結晶, 状態変化
11 月	蒸留, 化学変化 (熱分解) 11 月下旬 後期中間考査
12 月	化学変化 (電気分解・化合), 化学式, 化学反応式
1 月	化学変化 (酸化・燃焼・還元), 質量保存の法則,
2 月	定比例の法則, 発熱反応・吸熱反応 2 月下旬 後期期末考査
3 月	補充実験